

安全便り

令和3年10月14日

階上小学校

防災・安全部

防災教育の充実に向けて！「防災タイム」

階上小学校では、防災教育に力を入れています。生活科や総合的な学習の時間、学級活動やその他の時間を使って防災学習を行っています。

朝の業前時間（15分間）には、ショートでの防災学習である「防災タイム」を全学年年間15回実施しています。1回目の4月の登下校の安全な歩行の仕方や学校における第一次避難所までの避難経路の確認から始まり、様々な自然災害等についての仕組みや避難の仕方について学年の発達段階に応じて指導しています。御家庭でお子さんと一緒に話し合うこともあると思いますので、そのときには「家にいたとき地震が起きたらどうしたらよいか」などお話しただければと思います。

さて、10月1日（金）に行われた2年生の防災タイム（8回目）について紹介します。2年生は、「こわかった大震災」について学習しました。初めに、「津波は、どんな波なのか」を全員で考えました。陸上では、自転車より速いことや家や船や車を押し流す力があること、繰り返し津波はやってくると、川をさかのぼることをクイズ形式で学習しました。その後、東日本大震災の避難の様子についてのアニメーションを見て、「大震災のこわさ」を少し感じることができたようです。

この頃、関東での地震が続いています。いつ大きな地震が起きるのか分かりません。日頃から御家庭で避難経路などの確認をしていただきたいと思います。



児童の学習の振り返りから

- ・アニメの動画を見て、少しずつ津波のことが分かってきて良かったです。
- ・防災タイムで学習したことを忘れないようにして、自分の命を守りたいです。
- ・大きな津波がきたとき生まれていなかったけど、お母さんたちは本当に大変な思いをしたんだと思いました。

